

平成23年度のおもな事業と決算額



勇舞中の建設
(16億9,828万円)



市営住宅(いずみ・みどり団地)の建替
(5億7,681万円)



花園コミセンの建設
(1億1,822万円)

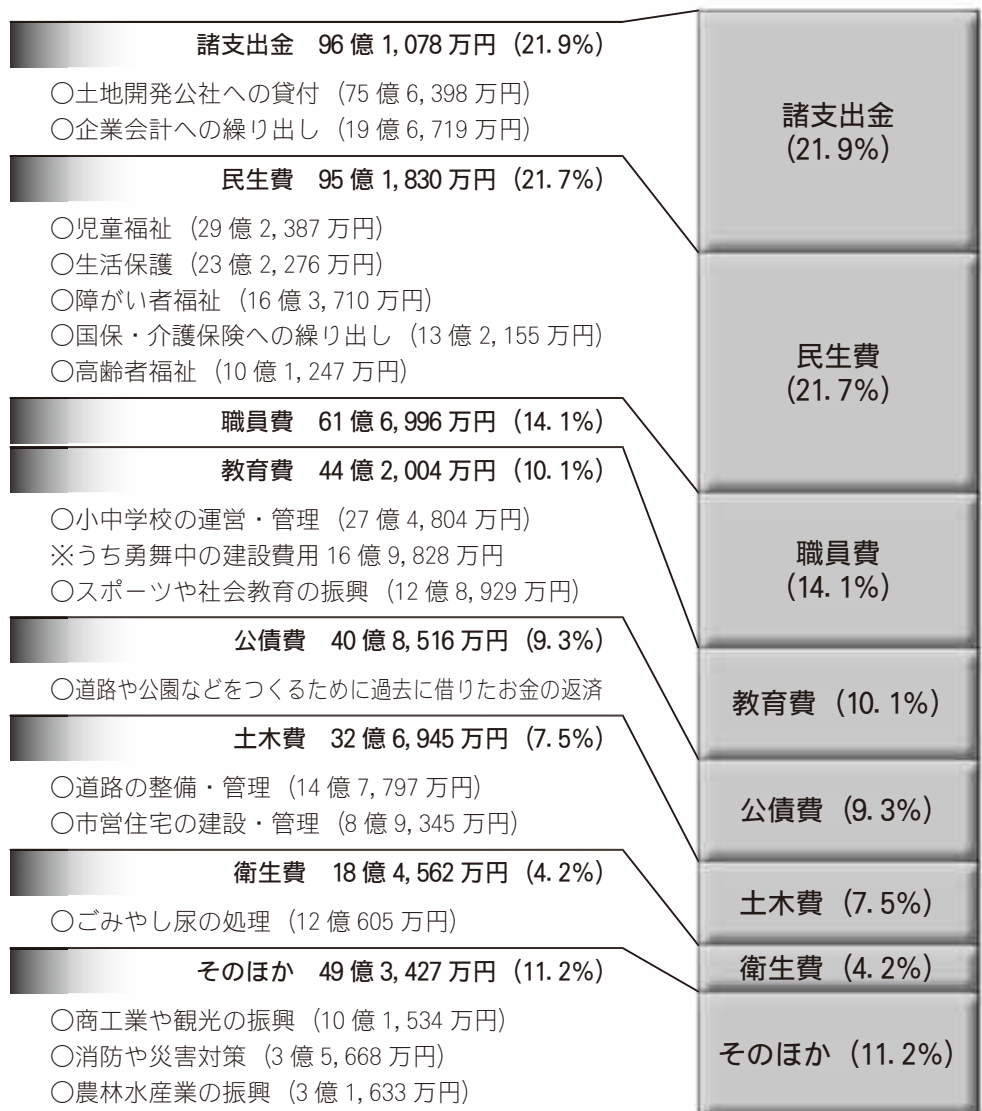


みどり台
緑化重点地区の整備
(1億1,348万円)

下の図は、一般会計の歳入と歳出を表しています。
平成23年度の決算額は、歳入が443億6,938万円、歳出が438億5,358万円、差し引き5億1,580万円の黒字となっています。
差し引き額のうち1,005万円は翌年度に繰り越した事業にあてるための財源としたため、**実質的な収支では5億575万円の黒字となりました。**
予算の執行(まちのお金をつかう)にあたり、経費の節減や業務の見直しなどを行った結果、収支不足分として見込んだ基金(まちの貯金)からの繰り入れをすることなく決算をし、黒字額のうち4億4,329万円を基金に積み立てています。

① 一般会計

一般会計 **歳出** …平成23年度のお金のつかいみち
決算額 **438億5,358万円**



平成23年度
ちとせの

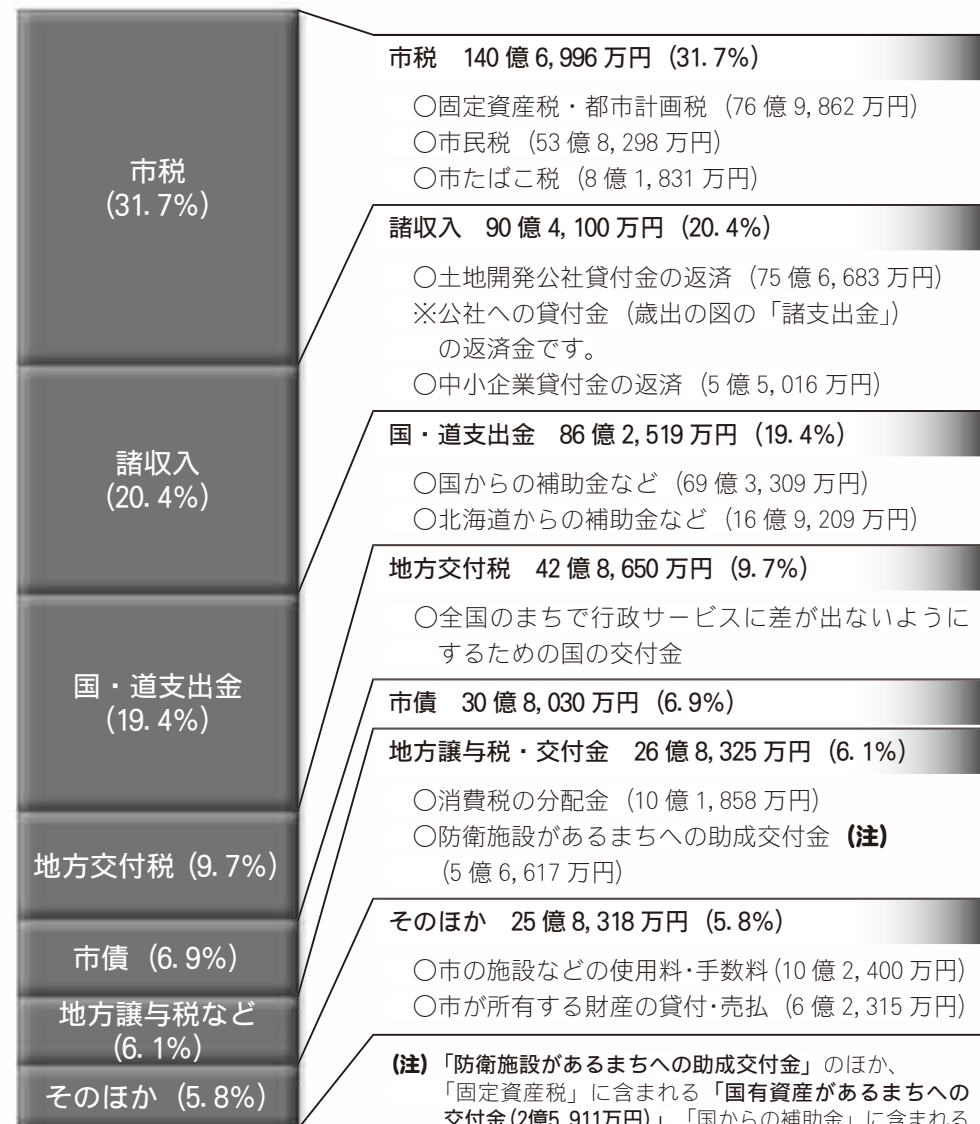
決算

市の会計(財布)は3種類

市の予算は、目的ごとに収支を明らかにするため、会計を「**一般会計**」、「**特別会計**」、「**公営企業会計**」の3つに分けています。

① 一般会計 →2・3ページ	市の一番大きな会計で、福祉や教育、道路整備など、基本的な経費が中心となる会計です。市民の皆さんが納める税金や国からの地方交付税などの収入でまかなわれています。
② 特別会計 →4ページ	保険料や使用料など、特定の収入がある会計です。収入のつかいみちが決まっており、それぞれの収支を明らかにするため一般会計と分けています。
③ 公営企業会計 →4ページ	一般の会社と同じように独自の収入で経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計です。

平成23年度に市に入ってきたお金 … 一般会計 **歳入**
決算額 **443億6,938万円**



(注)「防衛施設があるまちへの助成交付金」のほか、「固定資産税」に含まれる「国有資産があるまちへの交付金(2億5,911万円)」、「国からの補助金」に含まれる「防衛施設の周辺整備調整交付金(8億9,279万円)」、「再編交付金(3億4,343万円)」などがあります。

市は、市税などの歳入(市に入ってくるお金)と、歳出(お金のつかいみち)を計画して、1年間の予算をつくりまわります。そして、その予算に基づいてさまざまな事業を行っています。今の特集は、皆さんが納めた税金などがどのように使われたのか、平成23年度の決算状況をお知らせします。